平成２９年度第１４回 地域連携推進機構運営会議 議事要旨

日　時: 平成３０年３月２３日（金）　１０：００～１２：００
場　所: 本部管理棟 ２階 第２会議室
出席者: 須加原 一博（議長（機構長）），屋 宏典（副機構長 兼 産学官連携部門長），背戸 博史（地域連携企画室長），玉城 理（産学官連携部門 専任教員），島袋 亮道（地域連携企画室 特命教員），下地 みさ子（産学官連携部門 特命教員），空閑 睦子（生涯学習推進部門 特命教員），糸数 温子（生涯学習推進部門 特命教員），新川 武（産学官連携部門 併任教員），新田 早苗（総合企画戦略部長），金城 邦夫（総合企画戦略部 地域連携推進課長）
欠席者: 遠藤 光男（生涯学習推進部門長），柴田 聡史（生涯学習推進部門 専任教員），小島 肇（地域連携企画室 特命教員），宮里 大八（地域連携企画室 特命教員），瀬名波 出（産学官連携部門 併任教員）
陪席者: 嘉目 克彦（監事），下地 孝之（総合企画戦略部 地域連携推進課 課長代理），大城 光雄（総合企画戦略部 地域連携推進課 地域連携推進係長），與儀 あゆみ（総合企画戦略部 地域連携推進課 産学連携推進係長），菅野 達之（総合企画戦略部 地域連携推進課 課員），仲嶺 天展（総合企画戦略部 地域連携推進課 地域連携推進係員），天願 翔太（総合企画戦略部 地域連携推進課 産学連携推進係員）

※審議に先立ち，３月２日開催の平成２９年度第１３回運営会議の議事要旨案について確認があり，了承された。

＜審議事項＞
議長から，次の６つの事項について機構の今後の対応について審議を行う旨提案があり，各担当から説明の上，審議を行った。

1. 平成３０年度戦略的重点配分経費配分方針（戦略的地域連携推進経費）について
須加原議長及び金城課長から，資料（審議１）に基づき配分方針について説明があった。
審議の結果，原案どおり了承され，公募要領について，「地域協働プロジェクト推進経費」は地域連携企画室，「地域志向活動トライアル経費」は生涯学習推進部門にそれぞれ一任することとした。

2. 平成３０年度非常勤講師（コーディネーター）の委嘱について
屋部門長から，資料（審議２）に基づき委嘱について説明があった。
審議の結果，原案どおり了承された。

3. イノベーション創出人材育成事業コンソーシアム協定締結について
屋部門長から，資料（審議３）に基づき協定の締結について説明があった。
審議の結果，原案どおり了承された。

4.　公開講座運営に係る実施方針について

背戸教授から，資料（審議４）に基づき規程の改正について説明があった。主な意見は以下のとおり。

・　新たに施行される公開講座規程において，「全学的に実施する（＝地域連携推進機構で取りまとめる）公開講座」と「部局独自で実施する公開講座」とを明確に分けて体系整理をすることができたが，「琉球大学公開講座実施方針」という名称だと，どちらを対象にしているのかが不明確であるため，「全学的な公開講座に関する実施方針」など分かりやすい名称にする必要がある。（新田部長）

・　従来の実施方針から変更した大きな点は，「琉球大学公開講座」という名称の取扱いについて言及している箇所である。部局独自で開設する公開講座において同名称を使用しても差し支えない考えだが，品質管理・リスク管理の観点から，部局でも同名称に相応しい内容かどうかを考慮する上で，部局における実施方針を策定してもらう必要がある。（背戸教授）

・　グローバル教育支援機構においても高大連携関連での講座があるので，地域連携推進機構で所掌する公開講座との棲み分けを整理するなど，縦割りではなく適宜調整の上，進めていただきたい。大学としてのガバナンス上，地域連携推進機構が公開講座に関する情報を集約・把握し，ある程度コントロールをすることは必要であると思われる。（嘉目監事）

・　ひとまずこの形で策定して運用しながら，名称の取扱い方などを含めて今後適宜見直していく，ということとしたい。（須加原議長）

審議の結果，原案どおり了承された。

5.　平成３０年度公開講座の受講料設定について

背戸教授から，資料（審議５）に基づき受講料の設定について説明があった。

審議の結果，原案どおり了承された。

6.　公開講座に関する規程制定等について

背戸教授から，資料（審議６）に基づき規程の制定について説明があった。

審議の結果，原案どおり了承された。

＜報告事項＞

議長から，次の６つの事項について機構の現状の認識と情報の共有を図るため，各担当から報告を行うよう発言があった。

1.　平成３０年度年度計画予算案について

金城課長から，資料（報告１）に基づき予算案について報告があった。

2.　地域貢献型大学としてのブランド確立に向けた地域貢献事業循環型モデルに関する具体的方策等について（最終答申）

須加原議長及び背戸室長から，資料（報告２）に基づき最終答申について報告があった。

3.　平成２９年度公開講座実施報告について

4.　平成２９年度公開授業実施報告について

背戸教授から，資料（報告３，報告４）に基づき今年度の実施状況について報告があった。

5.　平成２９年度琉大コミュニティキャンパス（ＲＣＣ）事業 成果報告会について

金城課長から，資料（報告５）に基づき報告会について報告があった。

6.　各室・部門の当面の活動予定（主要事項）について

各室・部門から，資料（報告６）に基づきそれぞれ報告があった。